

教育実習生の研究授業

一小出身の大学生が教育実習を行っています。実習のまとめとして研究授業を行いました。

算数科の学習

令和3年9月29日（水）第1校時 3年1組

<单元名> 「わり算をもっと考えよう」 あまりのあるわり算

<学習について>

この単元は、次のような力を育てることをねらいとしています。

あまりのあるわり算について、計算の仕方を考え、場面を式に表して計算することができる。また、場面に合わせてあまりを適切に処理することができる。

この学習は7時間予定で、本時は6時間目です。本時のねらいは次の通りです。

○問題場面に即してあまりの処理の仕方を考え、問題を解決することができる。

活動1 問題を解いて答えの違いに着目し、あまりの処理の仕方を考える。

問題：バラの花が23本あります。4本ずつ束にして花束を作ります。4本ずつの花束はいくつできますか？

$23 \div 4 = 5$ あまり3 という計算のあまりの処理の仕方を考えました。

答えが「5つ」と「6つ」に別れてしまいました。答えにあまりを含めるのか含めないのかで、答えが変わってしまいます。



異なる答えが出されると、児童の関心が高まります。それぞれの考えを児童が発表しました。

聞いている児童は自分の考えと比べながら、正解を考えています。

活動2 学習のめあてをもち、あまりの処理の仕方を確かめる。



数名の児童が考え方を説明した後、花のイラストを用いて教師が説明します。児童の説明で不十分なところを分かりやすく補足していきます。



学習への関心が高まっている児童は教師の話をしつかりと聞いています。正しい説明の仕方を聞くことは自分の表現力を伸ばすことにつながります。

活動3 練習問題を解いて、学習のまとめをする。



授業の後の児童の様子です。満足そうな表情を浮かべています。とても分かりやすい授業でした。